



教室に掲示されている鯉のぼり。実習生が授業で作りました。

企画・編集 澁谷 健司
栗又 由利子

5月に入りました。今年は最大10連休となるゴールデンウィークでしたが、実習生の受け入れ再開が本格化した当校の教室は、連休中も実習生の皆さんの明るい笑顔と、元気な声で溢れていました。入国後7日間の待機期間中は、リモート学習となるため思うように学習がはかどらないのが現状ですが、実習生の皆さんは、その遅れを取り戻すかの如く、一生懸命に教室での対面授業に取り組んでいます。

あじけんスコープ Vol.109

～ 実習生が見る景色 Vol.4 ～



住宅街を走り抜ける東北新幹線やまびこ号

今月の景色は、栃木校 402 教室から見える新幹線です。校舎から JR 小山駅が近いので、速度を落として走ってくる新幹線も多く、日本の新幹線の雄姿をゆっくり眺めることができます。休み時間と新幹線の通過が重なると、実習生の皆さんの注目の的となります。その後は、「しんかんせんは、たかいですか」「あのしんかんせんは、どこにいきますか」等の質問攻めが始まり、実習生の会話練習の一助ともなっています。

来日直後に、思いもかけず目にすることが出来た新幹線。瓦屋根の日本家屋の上を通り過ぎるその姿に、日本に来たことを実感する実習生も多いのではないのでしょうか。

今月の実習生



今月は、しっかりと傘を握って、笑顔でスナップ写真に納まっているベトナム人実習生、向かって左から

NUGYEN VAN HUU CHIEN (チェン) さん
HOAN TIEN DUNG(ズン)さん
MAC VAN CON (コン) さん

の3人を紹介します。この写真は、よく晴れた日の朝に撮影されたものです。この日の天気予報は、夕方から夜にかけて、強い雨。なんとこの3人は、インターネットで当日の天候についての情報を得て、傘を持って登校してきました。この日は、天気予報が的中し、下校時にはかなり強い雨が降ってきました。多くの実習生がずぶ濡れになって帰る中、3人はしっかりと傘をさして笑顔で下校していきました。

あじけん流日本語授業

～日本文化と作業の日本語～

今月のあじけん流日本語授業は、2021年3月からお伝えできていなかった実習生の授業の様子について久しぶりにお伝えします。5月といえば「こいのぼり」ですが、紙のミニこいのぼりを作製することにより、日本文化の理解と作業で使う日本語の習得を目指す授業をご紹介します。

まず、「こいのぼり」とは何かを説明し、それぞれの国に似たような行事などがないか話し合います。その後、こいのぼりを作製する手順を説明します。その時、「まず」「つぎに」などの作業の順番を表す言葉を使って作業内容を伝えます(写真①)。次に色の名前の学習をし、こいのぼりの台紙に色を塗っていきます(写真②)。色を塗ったら、線に沿ってはさみで切り、のりをつけ、こいのぼりの形にします。それぞれのこいのぼりは、教室の壁にかざります(写真③)。これら作業の中で、講師から日本語で指示を出し、その通りに作業を行います。指示された通りに作業すること、丁寧に作業を行うこと、わからない場合は質問をすることなども作業を通して注意していきます。飾りつけが終わったら、使用した道具を元に戻しますが、その時には「5S」の中の整理と整頓を意識させ、不要なものは捨てること、次に使う人が取り出しやすいように、同じ種類の物をまとめて、きれいに並べて入れること等を指導します(写真④)。

実際の作業を通すことで、「手順」の表現や、整理・整頓の意味が体験的に学べるので、学習内容の理解と定着が一層進みます。また、創作活動を取り入れることで、学習活動に「楽しさ」が加わり、モチベーション向上にも役立ちます。これからも実習生に役立ち、そして楽しく学べる授業内容を検討していこうと思っております。



写真1：順番を表す表現を学習します



写真2：台紙に色を塗ります



写真3：作品を掲示します



写真4：使用したものをものごとのところに戻します